

牧草の収穫作業始まる

昨年度、シカの食害と暑熱や降水不足の影響で、牧草収量（87ロール）が平年比20%まで減収したことから、今年度は、早春から主要な牧草地にシカ防護柵を設置し、5月下旬からミレットやソルガムなどの牧草を22haの採草地に播種しました。

生育期間の平均気温は平年より高めで推移し、梅雨時期にしっかり雨が降ったことにより順調に生育し、7月下旬には刈取時期を迎えました。この収穫作業はお盆頃まで続き、約300tの牧草を飼料として調製できると見込んでいます。

礎牧場では、今後自給飼料生産に基づく持続的な牧場経営を実践してまいります。



シカ防護柵に囲まれ1.5～2.0m
に生長したソルガム



収穫作業